

商工会館が落成

商工業発展に新たな決意

南国市商工会館の新築工事が完了し、四月十八日、来賓や関係者百五十人余りが出席して盛大に落成式が行われました。

市商工会は、昭和三十五年八月に設立され、後免町の民家を借りて事務所を置きました。その後四十九年に南国警察署の旧施設の払い下げを受けて運営してきました。新しい商工会館は、商工会活動の拠点として地元商工業者の待ち望んでいたもので、鉄筋コンクリ

ート造り一部四階建て、延床面積千四百十二・九八平方尺、本体工事費一億六千五百五十万円、六十二年八月一日に着工し、今年二月二十日に完成しました。事務室のほか、研修センターやホールもあり、県下第二の都市にふさわしい施設

式典では、市商工会の吉村雅男会長が「会館建設を契機に、一致団結して地域経済の振興や社会福祉増進のために幅広い活動を続けていきたいと思います」と式辞を述べ、工事報告の後、中内知事や小笠原市長らが「商工会の限りない発展をお祈りします」と祝辞を贈りました。

また、神事の後はもち投げが行われ、地元の約二百人が集まって落成を祝いました。

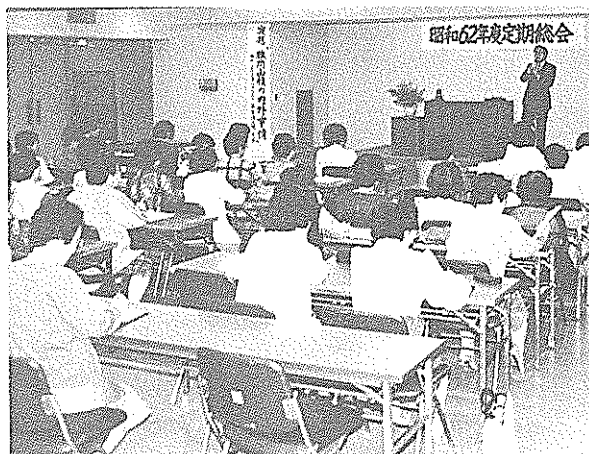


新築された商工会館



三階ホールで盛大に落成式典が行われた

市連合婦人会定期総会 昭和62年度の事業を決定



品原室長の講演に聞き入る婦人会員

魅力ある婦人会をつくらう——と、昭和六十二年度南国市連合婦人会定期総会が、四月二十二日、会員約四十人が出席して市役所大会議室で開かれました。

西森律連合婦人会長のあいさつの後、鈴江広幸教育長が「地域活動の充実を図るとともに連合会としてもいつそうの活躍を期待します」とあいさつしました。

続いて、六十一年度の事業報告や六十二年度の事業計画の審議が行われました。その後役員が改選され、会長には昨年度に引き続い

て西森律さんが選ばれました。午後一時からは、高知放送取締役社長室の品原淳次郎室長が「難関山積の内外事情と題して講演。売上税などの問題についてのユーモアたっぷりのわかりやすい解説に、参加した皆さんは興味深げに聞き入っていました。

